

## 児童生徒質問紙について

児童生徒の質問紙調査は86項目に及び、学習習慣、生活習慣等幅広く質問されています。その中で注目すべき項目や今後に生かせる項目について抜粋し考察しました。

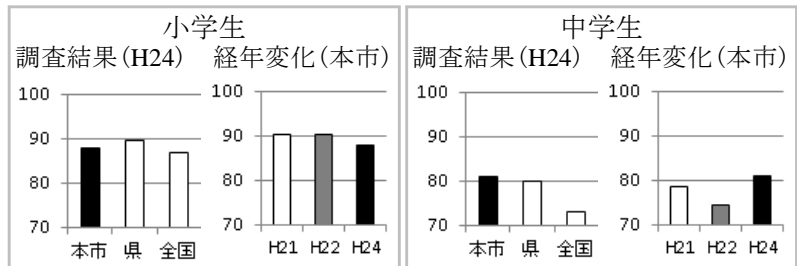
データは今年度の本市、県、全国の結果と平成21年度からの3年間（H23を除く）を比較したグラフを掲載しています。

なお、この調査では本市の小学校6年生699名、中学校3年生719名が回答しています。

### 【Q6 将来の夢や目標を持っていますか】 《当てはまる、やや当てはまる割合》

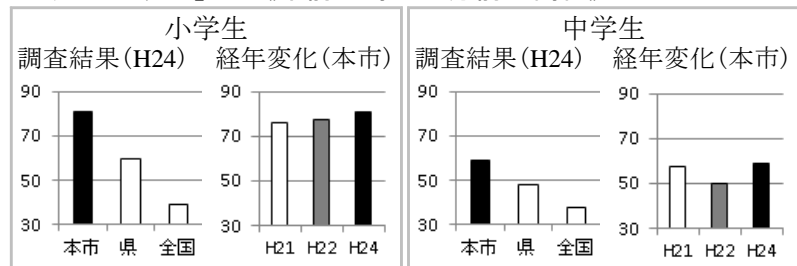
小学生の87%以上、中学生の約81%が夢や目標を持っています。中学生は全国、県に比較して高い傾向にあり、経年変化でも改善が見られます。

児童生徒が夢や目標を持ち努力していく姿勢が高まっていることは望ましい傾向と考えます。



### 【Q7 普段（月～金曜日）、何時ごろに起きますか】 《午前6時30分前の割合》

小学生は80%以上が、中学生は約60%が午前6時30分以前に起床しています。小学生、中学生ともに全国、県よりも非常に高い割合を示しています。また、その割合は増加傾向にあり、規則正しいリズムで生活することによって、健康でたくましい心と体が育成されることにつながっていると考えます。

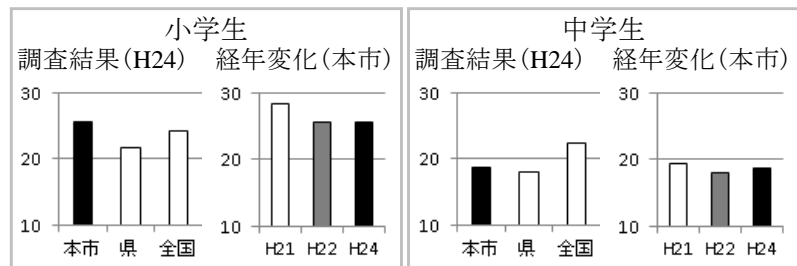


### 【Q11 普通日にどれくらいの時間テレビゲームをしますか】 《2時間以上の割合》

普通日に2時間以上テレビゲームをしている本市の小学生の割合は、約26%です。やや減少傾向にあるものの、県、全国と比べると依然として高い割合を示しています。

また、本市の中学生でも20%弱の生徒が自宅に帰ってからゲームに時間を費やしていることがわかります。

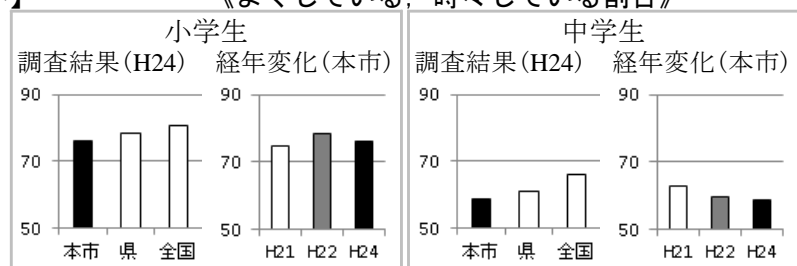
テレビゲームの使用については、学校と家庭が連携をとりながら、適切な時間等の指導をしていくことが望まれます。



### 【Q21 家の手伝いをしていますか】 《よくしている、時々している割合》

家で手伝いをしている児童生徒の割合は、全国と比較して小学生で4ポイント、中学生で7ポイント低く、やや減少傾向にあります。

家の手伝いをまったくしない本市小学生の割合は4%、本市中学生の割合は10%ほどで、全国の割合よりやや多くなっています。スポ少や部活に向けられる時間、あるいは家庭学習の時間が影響していることも考えられますが、家庭での役割を分担するなどして家族の一員としての自覚を高めたいためです。



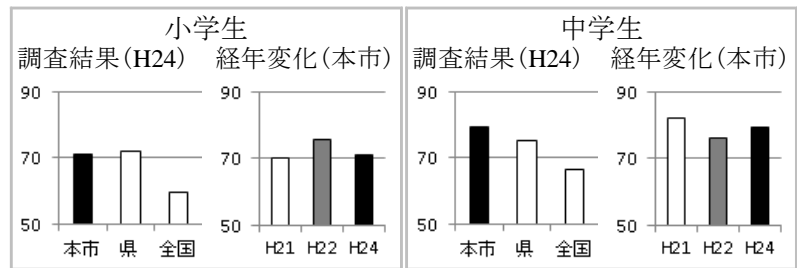
【Q14 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか】  
《1時間以上の割合》

学校以外で平日勉強している時間は、本市の約55%の児童生徒が1時間から2時間です。また、ほとんど勉強しない児童の割合は0.9%、生徒は0.4%と少ないことから、全体的に家庭で勉強する習慣は身に付いていると考えられます。

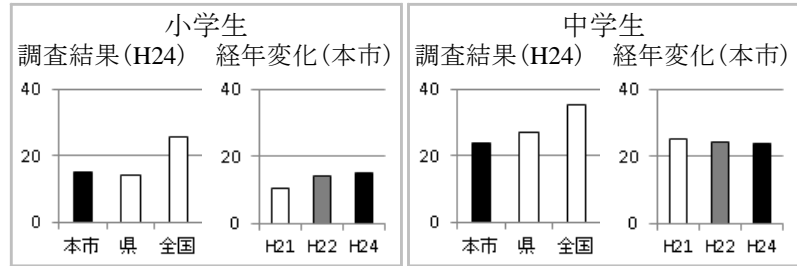
しかし小学生で2時間以上じっくり取り組む割合は全国に比べて低く、2時間以上勉強する児童の割合が、本市15%、全国26%と大きな課題が残ります。

これは、中学生でも同様の傾向を示し、2時間以上勉強する生徒の割合が、本市24%、全国35%です。

家庭での時間の使い方については、家族で話し合いをするなどして改善を図ることが求められています。



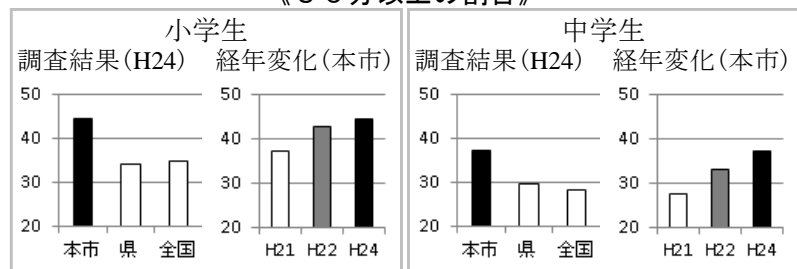
《2時間以上の割合》



【Q17 家や図書館で、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか】  
《30分以上の割合》

1日当たり30分以上読書する本市の児童は44%、生徒は37%と県、全国に比較して高い割合を示しています。しかも、その割合は増加傾向であることが顕著です。

反面、10分以内の児童、生徒についても29%、37%と高い割合を示しています。今後、学校と家庭が連携しながら読書推進を強化していく必要があると考えます。



【Q26 家で学校の授業の復習をしていますか】 《している、どちらかといえばしている》

家で授業の復習をしている児童生徒の割合は約87%で、小学生は全国に比べて48ポイント、中学生は41ポイント上回っています。復習により、その日の学習内容を確実に定着させていることがうかがえます。

反面、予習をしている中学生の割合は約28%で、全国に比べて1ポイント下回っています。中学生には、予習と復習の相乗効果が得られる効果的な学習をすることが望まれます。

